

DataTraveler® Locker+ G3 ユーザーマニュアル



目次

本ユーザーガイドについて.....	3
システム要件.....	3
推奨事項.....	3
セットアップ（Windows 環境）	4
デバイスの初期化（Windows 環境）	5
USB-to-Cloud の初期化/使用（Windows 環境）	9
デバイスの使用（Windows 環境）	11
デバイスのオプション（Windows 環境）	12
セットアップ（Mac 環境）	14
デバイスの初期化（Mac 環境）	15
USB-to-Cloud の初期化/使用（Mac 環境）	19
デバイスの使用（Mac 環境）	21
デバイスのオプション（Mac 環境）	22
ヘルプとトラブルシューティング.....	24
デバイスのロックアウト.....	24
パスワードを忘れた場合.....	25
ドライブレター競合（Windows OS）	26

本ユーザーガイドについて (06122023)

本ユーザーマニュアルは、DataTraveler® Locker+ G3（以降、DTL+ G3）のカスタマイズされていない工場出荷時イメージに基づくものです。

システム要件

PC プラットフォーム

- Pentium III プロセッサ相当以上の速度
- 15MB のディスク空き容量
- USB 2.0/3.0 ポート
- 最後の物理ドライブの後に続く 2 つの連続したドライブレター*

PC OS サポート

- Windows 11
- Windows® 10
- アクティブなインターネット接続

Mac プラットフォーム

- 15MB のディスク空き容量
- USB 2.0/3.0 ポート

OS サポート

- macOS 10.15.x – 13.x.x

推奨事項

DTL+ G3 デバイスに十分な電力が供給されるようにするには、[図 1.1](#) のように、ノート PC やデスクトップ PC の USB ポートに直接挿入してください。DTL+ G3 を、[図 1.2](#) のように、キーボードや USB 給電ハブなどの USB ポートを備えた周辺デバイスに接続することは避けてください。

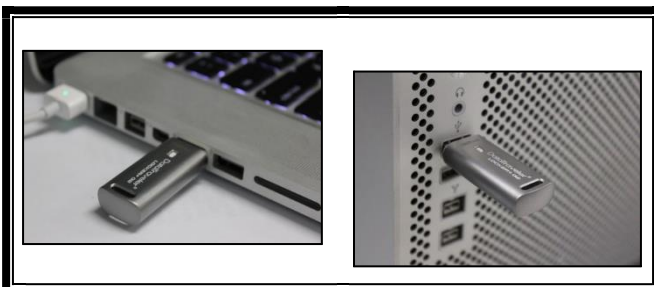


図 1.1 - 推奨される使用方法

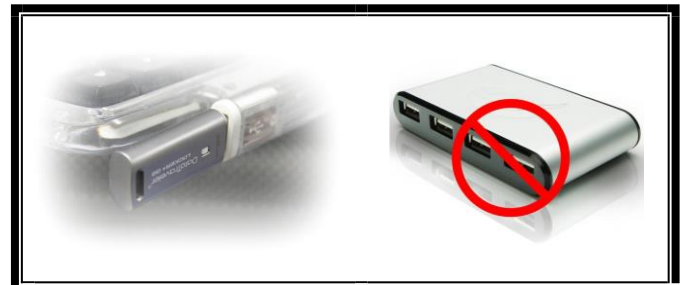


図 1.2 - 推奨されない使用方法

*注：24 ページの「ドライブレターの競合」を参照。

セットアップ (Windows 環境)

1. DTL+ G3 をノートPCまたはデスクトップPCの利用可能なUSBポートに挿入し、Windowsが検出するのを待ちます。

- Windows 11/10 ユーザーは、**図 2.1** のようなデバイスドライバーの通知を受け取ります。



図 2.1 - デバイスドライバーのインストール

新しいハードウェアの検出が完了すると、Windowsは初期化プロセスを開始します。

- Windowsの自動実行機能が有効になっている場合は、次のステップを省略して5ページの「デバイスの初期化」に進むことができます。
- **図 2.2** のような自動再生ウィンドウが表示されます。

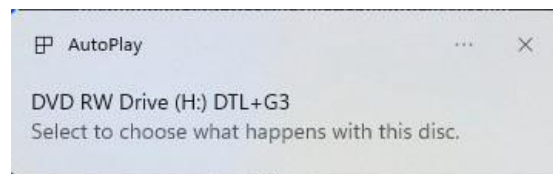


図 2.2 - 自動再生ウィンドウ

2. [Run DTLplus_Launcher.exe] を選択します。

Windowsが自動再生しない場合は、DVD-RWパーティション (**図 2.3**) を参照し、手動でDTLplus_Launcherプログラムを実行することができます。これにより、初期化プロセスが開始されます。

(注：自動再生ウィンドウのメニューオプションは、お使いのコンピュータに現在インストールされているプログラムによって異なる場合があります。有効にすると、自動実行が自動的に初期化プロセスを開始します)。

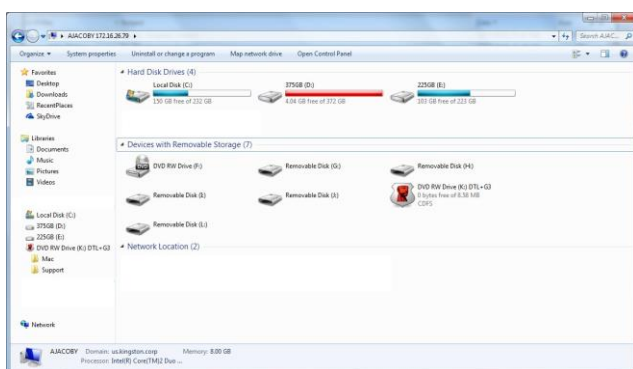


図 2.3 - DTL+ G3 の内容

デバイスの初期化（Windows 環境）

1. ドロップダウンメニューから言語設定を選択し、[Next]（次へ）をクリックします（[図 3.1](#)）。



図 3.1 - 言語選択

2. ライセンス契約を確認し、[Next]（次へ）をクリックします（[図 3.2](#)）。（注：続行するにはライセンス契約に同意する必要があります。同意しない場合、[Next]（次へ）ボタンは無効となります。）

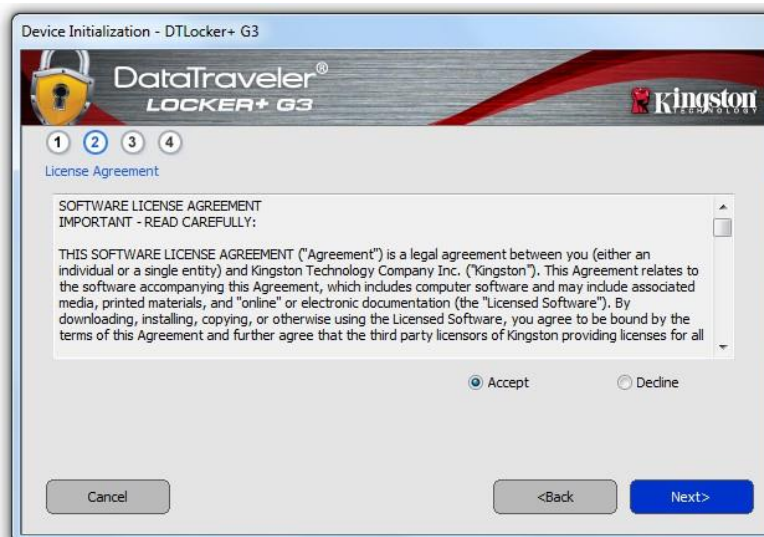


図 3.2 - ライセンス契約

3. DTL+ G3 のデータを保護するためにパスワードを作成します。図 3.3 のように、[Password]（パスワード）の欄に入力し、[Password Confirmation]（パスワードの確認入力）の欄に再入力します。初期化プロセスを続行するには、作成したパスワードが以下の条件を満たしている必要があります。

1. 6 文字以上（最大 16 文字）。
2. 以下のうち 3 つ以上を含む：
 - 大文字、小文字、数字、特殊文字 (!, \$ など)

パスワードのヒントを入力することもできますが、必須ではありません。ヒントの欄は、パスワードを忘れた場合に、手がかりを提供します。（注：ヒントはパスワードと同じにはできません）。



図 3.3- パスワードの設定

4. テキストボックス（図 3.4 参照）に連絡先情報を入力してください（注：これらの欄に入力する情報は、ステップ 3 で作成したパスワードを含むことはできません。ただし、これらの欄は任意であり、空白のままにすることもできます）。

- [Name] (名前) の欄には最大32文字まで入力できますが、パスワードと完全に一致してはいけません。
- [Company] (企業) の欄には最大 32 文字まで入力できますが、パスワードと完全に一致してはいけません。
- [Details] (詳細) の欄には最大 156 文字まで入力できますが、パスワードと完全に一致してはいけません。



図 3.4 - 連絡先情報

5. [Finish] (完了) をクリックしてデバイスの初期化を完了します。

DTL+ G3 はセキュアデータパーティションをフォーマットし (図 3.5) 、完了すると通知します (図 3.6) 。

6. [OK] をクリックして、続行します。



図 3.5 - DTL+ G3 のフォーマット

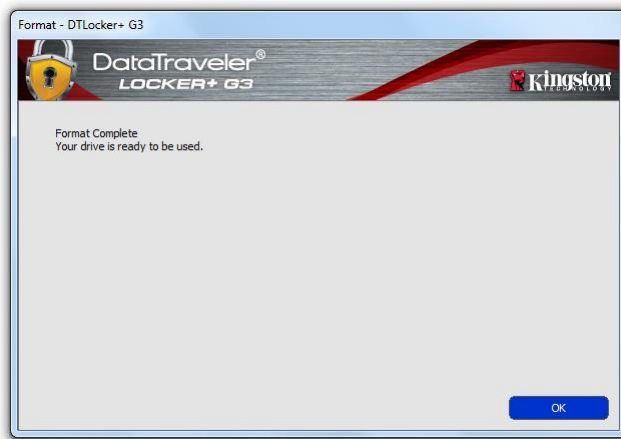


図 3.6 - フォーマット完了

初期化完了。

*注：時間は、システムのハードウェアおよびDTL+ G3 ドライブの容量によって異なる場合があります。

USB ← → Cloud 初期化（Windows 環境）

デバイスが初期化されると、[図 3.7](#)右のように USB-to-Cloud アプリケーションが表示されます。続行する前に、インターネット接続が有効であることを確認してください。

インストールを続行するには、clevX ウィンドウの右下にある緑色の [Accept] ボタンをクリックします。

インストールを拒否するには、clevX ウィンドウの左下にある赤い [Decline] ボタンをクリックします。

（注：赤い [Decline] ボタンをクリックすると、USB-to-Cloud のインストールがキャンセルされます。その際、`USBtoCloudInstallDeclined.txt` という特別なテキストファイルがデータパーティション上に作成されます。このファイルがあることで、今後アプリケーションがインストールを求めなくなります）。

初期化プロセス中に以下の Windows セキュリティ警告ウィンドウがポップアップ表示された場合は、USB-to-Cloud アプリケーションを続行するために、[Allow access] をクリックして続行してください（または Windows ファイアウォールの例外を作成してください）。



図 3.7 - USB-to-Cloud



図 3.8 - Windows セキュリティ警告

(続き) USB ↔ Cloud 初期化 (Windows 環境)

インストールが完了すると、(DataLocker+ G3 のデータを同期するための) オプションの一覧が表示されます。

バックアップアプリケーションとして使用するクラウドオプションを選択し、認証に必要な情報を入力します。

(注: リスト内のクラウドオプションに設定しているアカウントがない場合は、インターネットブラウザを使用して、この時点でアカウントを作成し、その後にオプションを選択することができます)。

クラウドオプションを選択し、対応するサービスに認証されると、USB-to-Cloud プログラムは、データパーティションとクラウドに保存されているデータとの最初の比較を実行します。USB-to-Cloud サービスがタスクマネージャーで実行されている限り、データパーティションに書き込まれたコンテンツは自動的にクラウドにバックアップ (同期) されます。



図 3.9 - クラウドオプション

USB-to-Cloud の使用

USB-to-Cloud アプリケーションは、以下の追加サービスを提供します。

- バックアップの一時停止 (データのバックアップを一時停止する)
- 復元 (クラウドからデバイスにデータを復元する)
- 設定 (データバックアップの追加オプション)
- 終了 (USB-to-Cloud サービスを終了する)

設定

- 現在使用している言語を変更する
- バックアップする場所
- バックアップするもの
- ディスプレイ通知の有効化/無効化
- 自動ソフトウェアアップデートの有効化/無効化、現在のアップデートの確認

(注: DTL+ G3 をリセット (またはフォーマット) すると、デバイス上のすべてのデータが失われます。ただし、クラウドに保存されているデータは損なわれずに保持されます)。

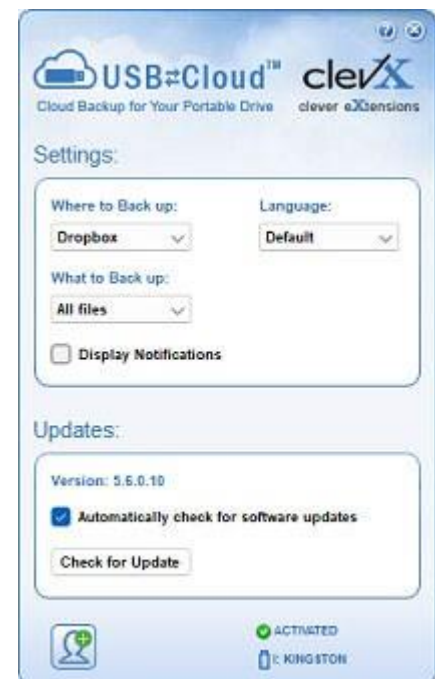



図 3.10 - 設定

デバイスの使用（Windows 環境）

DTL+ G3 が初期化されたら、パスワードを使ってデバイスにログインすることで、セキュアデータパーティションにアクセスし、デバイスのオプションを利用することができます。これを行うには、以下の手順に従います。

1. DTL+ G3 をノート PC またはデスクトップ PC の USB ポートに挿入し、パスワードを入力します（[図 4.1](#) 参照）。
2. パスワードを入力したら、[Login]（ログイン）ボタンをクリックして次に進みます。
 - 正しいパスワードが入力されると、DTL+ G3 のロックが解除され、デバイスの使用を開始できます。
 - 不正なパスワードが入力された場合、ログインに失敗したことを示すエラーメッセージが [Hint]（ヒント）欄のすぐ下に表示されます。（[図 4.2](#) 参照）

ログインプロセス中、不正なパスワードが入力された場合、正しいパスワードを入力し直すことができますが、ログインに失敗した回数を記録するセキュリティ機能が搭載されています*。この回数が既定の 10 回に達した場合、DTL+ G3 はロックされ、次回使用前にセキュアデータパーティションのデバイスフォーマットが要求されます。

 これは、DTL+ 3.0 に保存されているすべてのデータが消去されることを意味します。

この機能の詳細については、22 ページの「デバイスのロックアウト」を参照してください。



図 4.1- ログインウィンドウ



図 4.2- ログイン失敗

*注：デバイスの認証に成功すると、ログイン失敗カウンターはリセットされます。

デバイスのオプション (Windows 環境)

デバイスにログイン中、Windows タスクバーの右隅に DTL+ G3 アイコンが表示されます (図 5.1)。
(注: Windows 11/10 ユーザーは、DTL+ G3 アイコンにアクセスするために、タスクバーの上矢印ボタンをクリックする必要があります (図 5.2))。

DTL+ G3 アイコンを一度クリックすると、以下のメニューが表示されます。

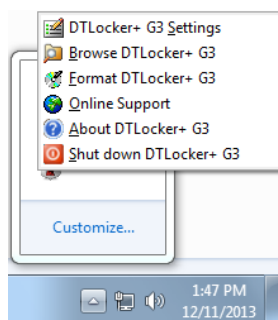


図 5.1 - タスクバーの DTL+ G3 アイコン



図 5.2 - タスクバーの DTL+ G3 アイコン

DTL+ G3 Settings (DTL + G3 設定)

- パスワードやヒントの変更が可能 (図 5.3)
- 連絡先情報の追加・確認・変更が可能 (図 5.4)
- 現在の言語選択の変更が可能 (図 5.5)

(注: セキュリティ上、これらの設定を更新変更するには、現在の DTL+ G3 のパスワードが必要です。)



図 5.3
パスワードの変更



図 5.4
連絡先情報



図 5.5
言語の選択

Browse DTL+ G3 (DTL + G3 のブラウザ)

- ログイン中にセキュアデータパーティションの内容を参照可能

Format DTL+ G3 (DTL + G3 のフォーマット) *

- セキュアデータパーティションのフォーマットが可能 (警告: データはすべて消去されます)。
([図 5.7](#))

Online Support (オンラインサポート、インターネット接続が必要です)

- インターネットブラウザを開き、
<http://www.kingston.com/support/>
からサポート情報にアクセス

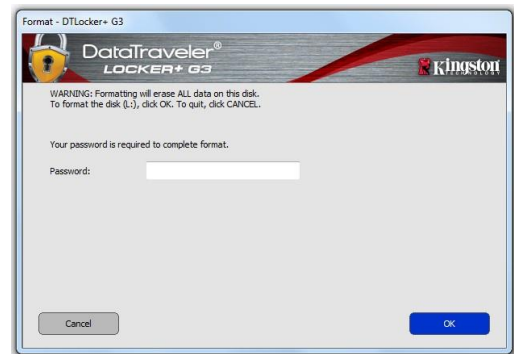


図 5.7- フォーマットの警告

About DTL+ G3 (DTL +G3 について)

- アプリケーションおよびファームウェアのバージョン情報を含む、DTL+ G3に関する詳細情報を提供 ([図 5.8](#))。

Shutdown DTL+ G3 (DTL + G3 のシャットダウン)

- DTL+ G3 を適切にシャットダウンし、システムから安全に取り外す

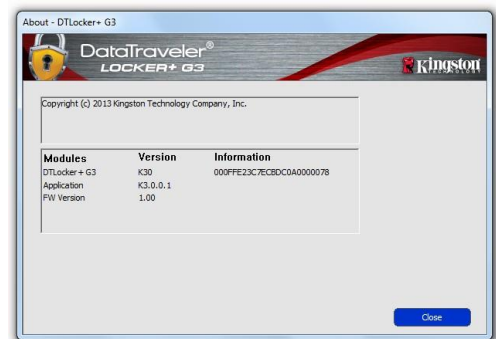


図 5.8 - DTL+ G3 について

-Windows 編完了-

セットアップ (Mac 環境)

DTL+ G3 をノート PC またはデスクトップ PC の利用可能な USB ポートに挿入し、Mac OS が検出するのを待ちます。図 6.1 のように、デスクトップに DTLplus ボリュームが表示されます。



1. DTL+ G3 DVD アイコンをダブルクリックします。
2. 図 6.2 のウィンドウで Mac フォルダをダブルクリックします。
3. 図 6.3 のウィンドウで DTLplus アプリケーションアイコンをダブルクリックします。これにより、初期化プロセスが開始されます。

図 6.1 - DTLplus

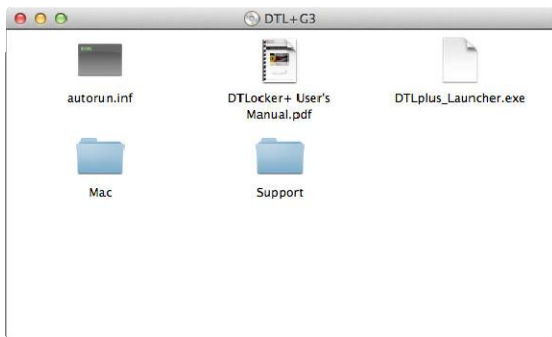


図 6.2 - DTL+ G3 の内容

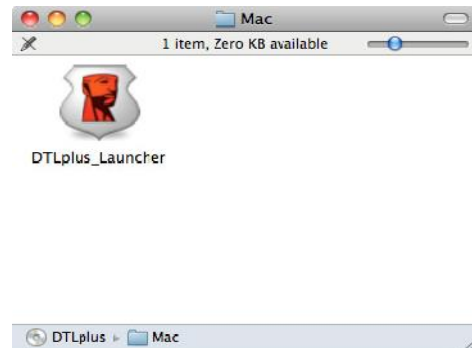
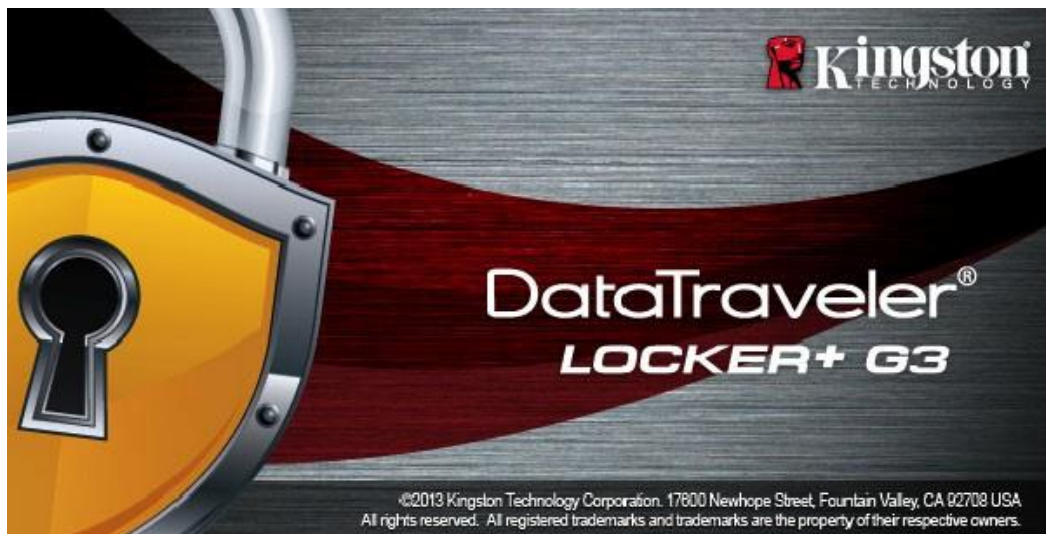


図 6.3 - DTL+ G3 アプリケーション



デバイスの初期化（Mac 環境）

1. ドロップダウンメニューから言語設定を選択し、[Next]（次へ）をクリックします（[図 7.1](#)）。



図 7.1- 言語選択

2. ライセンス契約を確認し、[Next]（次へ）をクリックします（[図 7.2](#)）。（注：続行するにはライセンス契約に同意する必要があります。同意しない場合、[Next]（次へ）ボタンは無効状態となります）。



図 7.2- ライセンス契約

3. DTL+ G3 のデータを保護するためにパスワードを作成します。図 7.3のように、[Password] (パスワード) の欄に入力し、[Password Confirmation] (パスワードの確認入力) の欄に再入力します。初期化プロセスを続行するには、作成したパスワードが以下の条件を満たしている必要があります。

1. 6 文字以上 (最大 16 文字)。
2. 以下のうち3つ以上を含む：
 - 大文字、小文字、数字、特殊文字 (!, \$ など)

パスワードのヒントを入力することもできますが、必須ではありません。ヒントの欄は、パスワードを忘れた場合に、手がかりを提供します。(注：ヒントはパスワードと同じにはできません)。



図 7.3- パスワードの設定

4. テキストボックス（[図 7.4](#) 参照）に連絡先情報を入力してください（注：これらの欄に入力する情報は、ステップ3で作成したパスワードを含むことはできません。ただし、これらの欄は任意であり、空白のままにすることもできます）。
- [Name]（名前）の欄には最大32文字まで入力できますが、パスワードと完全に一致してはいけません。
 - [Company]（企業）の欄には最大 32 文字まで入力できますが、パスワードと完全に一致してはいけません。
 - [Details]（詳細）の欄には最大 156 文字まで入力できますが、パスワードと完全に一致してはいけません。

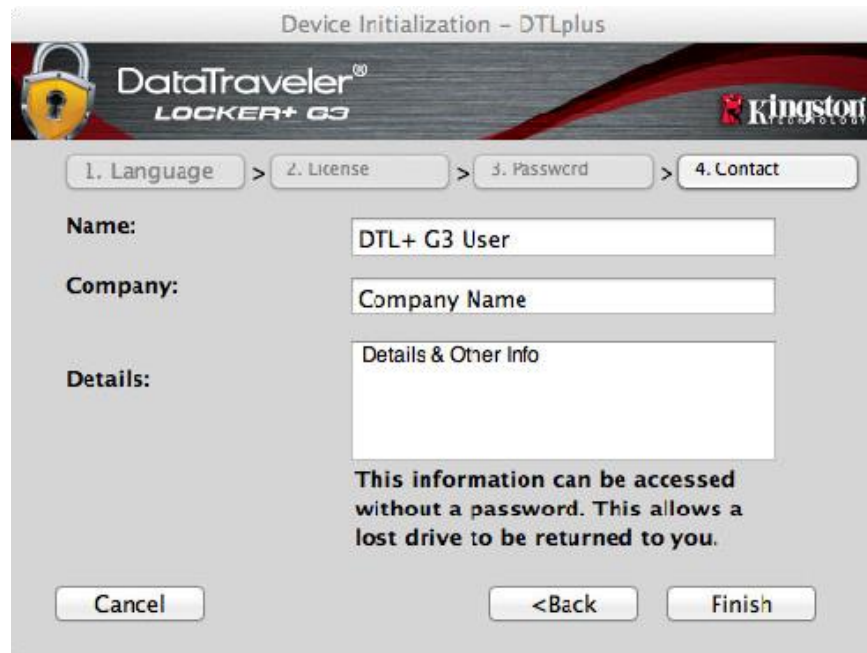


図 7.4 - 連絡先情報

5. [Finish]（完了）をクリックしてデバイスの初期化を完了します。

DTL+ G3 はセキュアデータパーティションをフォーマットし（[図 7.5](#)）、完了すると通知します（[図 7.6](#)）。

6. [OK]をクリックして、続行します。



図 7.5 - DTLocker+ G3 のフォーマット



図 7.6 - フォーマット完了

初期化完了。

*注：時間は、システムのハードウェアおよびDTL+ G3 ドライブの容量によって異なる場合があります。

USB ← → Cloud 初期化（Mac 環境）

デバイスが初期化されると、[図 7.7](#)右のように USB-to-Cloud アプリケーションが表示されます。続行する前に、インターネット接続が有効であることを確認してください。

インストールを続行するには、cleVX ウィンドウの右下にある緑色の [Accept]（同意）ボタンをクリックします。

インストールを拒否するには、cleVX ウィンドウの左下にある赤い [Decline]（拒否）ボタンをクリックします。

（注：赤い [Decline]（拒否）ボタンをクリックすると、USB-to-Cloud のインストールがキャンセルされます。その際、DontInstallUSBtoCloud という特別なファイルがデータパーティション上に作成されます。このファイルがあることで、今後アプリケーションがインストールを求めなくなります）。

インストールが完了すると、（DataLocker+G3 のデータを同期するための）オプションの一覧が表示されます。[図 7.8](#)

バックアップアプリケーションとして使用するクラウドオプションを選択し、認証に必要な情報を入力します。

（注：リスト内のクラウドオプションに設定しているアカウントがない場合は、インターネットブラウザを使用して、この時点でアカウントを作成し、その後オプションを選択することができます）。

クラウドオプションを選択し、対応するサービスに認証されると、USB-to-Cloud プログラムは、データパーティションとクラウドに保存されているデータとの最初の比較を実行します。USB-to-Cloud サービスがタスクマネージャーで実行されている限り、データパーティションに書き込まれたコンテンツは自動的にクラウドにバックアップ（同期）されます。



[図 7.7](#) – USB-to-Cloud



[図 7.8](#) - クラウドオプション

(続き) USB ↔ Cloud 初期化 (Mac 環境)

USB-to-Cloud の使用

USB-to-Cloud アプリケーションは、以下の追加サービスを提供します (図 7.9)

- バックアップの一時停止 (データのバックアップを一時停止する)
- 復元 (クラウドからデバイスにデータを復元する)
- バックアップ (クラウドオプションを開く)
19 ページの図 7.8 を参照
- 終了 (USB-to-Cloud サービスを終了する)



図 7.9 - オプション

[Settings] メニューでは、以下のことができます (図 7.10) :

- 現在使用している言語を変更する
- サウンド通知の有効化/無効化
- アプリ終了時のドライブアンマウント有効化/無効化
- トラブルシューティングのためのロギングの有効化/無効化
- ウイルス対策の有効化/無効化
- 自動ソフトウェアアップデートの有効化/無効化、現在のアップデートの確認

(注 : DTL+ G3 をリセット (またはフォーマット) すると、デバイス上のすべてのデータが失われます。ただし、クラウドに保存されているデータは損なわれずに保持されます)。

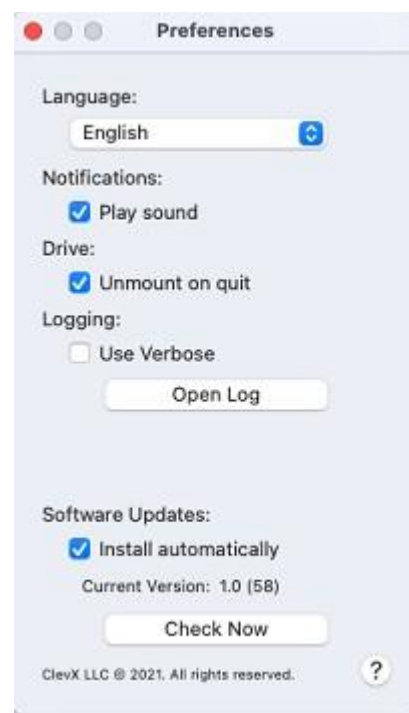



図 7.10 - 設定

デバイスの使用（Mac 環境）

DTL+ G3 が初期化されたら、パスワードを使ってデバイスにログインすることで、セキュアデータパーティションにアクセスし、デバイスのオプションを利用することができます。これを行うには、以下の手順に従います。

1. DTL+ G3 を USB ポートに挿入します。
2. DTL+ G3 ボリュームアイコンをダブルクリックします。
3. Mac フォルダを開いて、**DTLplus_Launcher** アプリをダブルクリックします。
4. ログインウィンドウのテキストボックスにパスワードを入力します（[図 8.1](#) 参照）。
5. パスワードを入力したら、[Login]（ログイン）ボタンをクリックして次に進みます。
 - 正しいパスワードが入力されると、DTL+ G3 のロックが解除され、デバイスの使用を開始できます。
 - 不正なパスワードが入力された場合、ログインに失敗したことを示すエラーメッセージが [Hint]（ヒント）欄のすぐ下に表示されます（[図 8.2](#) 参照）。

ログインプロセス中、不正なパスワードが入力された場合、正しいパスワードを入力し直すことができますが、ログインに失敗した回数を記録するセキュリティ機能が搭載されています*。この回数が既定の 10 回に達した場合、DTL+ G3 はロックされ、次回使用前にセキュアデータパーティションのデバイスフォーマットが要求されます。

 これは、DTL+ 3.0 に保存されているすべてのデータが消去されることを意味します。

この機能の詳細については、22 ページの「デバイスのロックアウト」を参照してください。

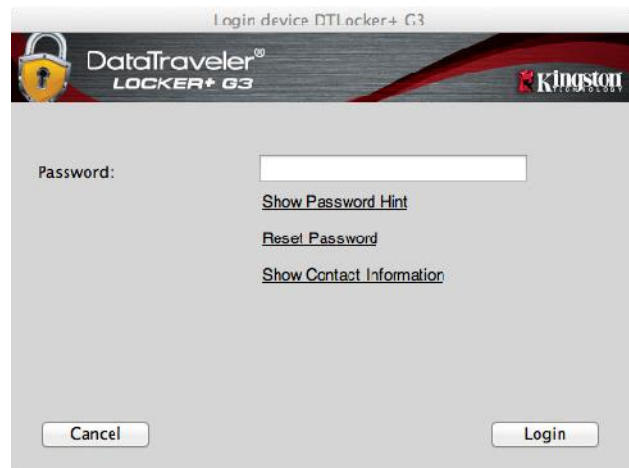


図 8.1 - ログインウィンドウ



図 8.2 - ログイン失敗

*注：デバイスの認証に成功すると、ログイン失敗カウンターはリセットされます。

デバイスのオプション (Mac 環境)

デバイスにログイン中、以下の図9.1のように Mac OS X Dock に *DTLplus_Launcher* アイコンが表示されます。



図 9.1 - Mac OS X Dock の DTL+ G3 アイコン

Ctrl キーを押しながら *DTLplus_Launcher* のアイコンをクリックすると、図 9.2 のメニューが表示されます。

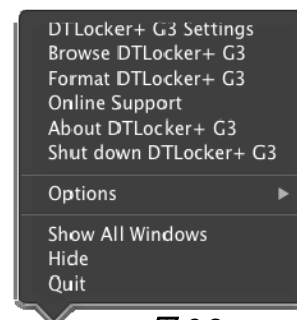


図 9.2
DTL+ G3 Options

DTL+ G3 Settings (DTL + G3 設定)

- パスワードやヒントの変更が可能 (図 9.3)
- 連絡先情報の追加・確認・変更が可能 (図 9.4)
- 言語選択の変更が可能 (図 9.5)



図 9.3
パスワードの変更



図 9.4
連絡先情報



図 9.5
言語の選択

(注：セキュリティ上、これらの設定を更新/変更するには、現在のDTL+G3のパスワードが必要です)。

Browse DTL+G3 (DTL+G3のブラウズ)

- ログイン中にセキュアデータパーティションの内容を参照可能

Format DTL+G3 (DTL+G3のフォーマット)*

- セキュアデータパーティションのフォーマットが可能 (警告：データはすべて消去されます)。
([図 9.7](#))

Online Support (オンラインサポート、インターネット接続が必要です)

- インターネットブラウザを開き、
<http://www.kingston.com/support/> から追加のサポート情報にアクセス

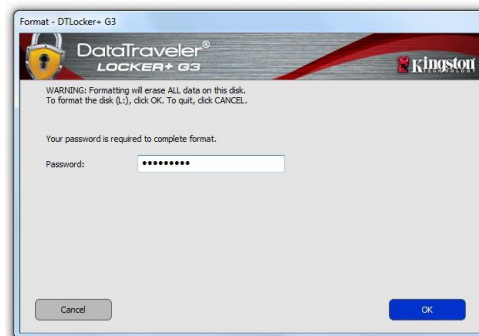


図 9.7 - フォーマットの警告

About DTL+G3 (DTL+G3について)

- アプリケーションおよびファームウェアのバージョン情報を含む、DTL+G3に関する詳細情報を提供 ([図 9.8](#))。

Shutdown DTL+G3 (DTL+G3のシャットダウン)

- DTL+G3 を適切にシャットダウンし、システムから安全に取り外す

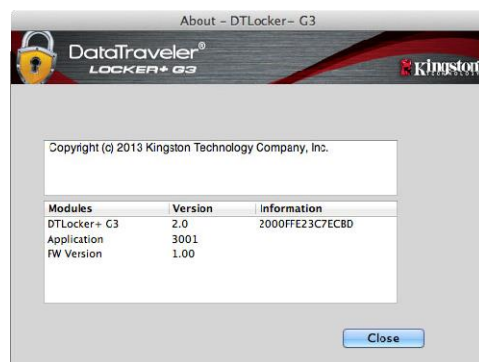


図 9.8 - DTL+G3 について

-Mac 編完了-

ヘルプとトラブルシューティング

デバイスのロックアウト

DTL+ G3 には、最大連続ログイン試行回数 (Maximum Number of Attempts、略して *MaxNoA*) を設定し、データパーティションへの不正アクセスを防止するセキュリティ機能があります。出荷時のデフォルト設定は、10 回となっています。

「ロックアウト」カウンターは、ログイン失敗を記録し、次のいずれかでリセットされます。MaxNoA に達する前にログインに成功した場合、または 2) MaxNoA に達し、デバイスフォーマットを実行した場合。

不正なパスワードが入力された場合、ログインに失敗したことを示すエラーメッセージが [Hint] (ヒント) 欄のすぐ下に表示されます。図 10.1 参照。

7 回目の試行に失敗すると、MaxNoA (デフォルトでは 10 回) に達するまであと 3 回試行できることを示す追加のエラーメッセージが表示されます。図 10.2 参照。

ログインに 10 回以上失敗すると、DTL+ G3 はデータパーティションを永久にブロックし、次回使用前にデバイスのフォーマットを要求します。つまり、DTL+ G3 に保存されているデータはすべて失われ、新しいパスワードを作成する必要があります。

このセキュリティ対策により、(パスワードを知らない) 何者かが何度もログインを試みて、機密データにアクセスすることを防ぐことができます。

DTL+ G3 の所有者がパスワードを忘れた場合でも、デバイスのフォーマットを含め、同様のセキュリティ対策が実施されます。*

この機能の詳細については、23 ページの「パスワードを忘れた場合」を参照してください。

*注：デバイスフォーマットが実行されると、DTL+ G3 のセキュアデータパーティションに保存されているすべての情報が消去されます。



図 10.1 - ログイン失敗

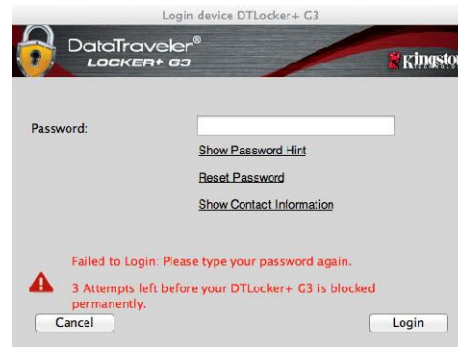


図 10.2 - 7 回目のログイン失敗

パスワードを忘れた場合

パスワードを忘れた場合は、DTLplus_Launcher 実行時にデバイスログインウィンドウに表示される *Reset Password* (パスワードのリセット) リンクをクリックします (図 10.3 参照)。

このオプションで新しいパスワードを作成できますが、データのプライバシーを保護するため、DTL+ G3 はフォーマットされます。つまり、すべてのデータが失われます。*

[*Reset Password*] を (パスワードのリセット) をクリックすると、メッセージボックス (図 10.4) が表示され、フォーマットを実行する前に新しいパスワードを入力するか尋ねられます。この時点で、1) [OK] をクリックして確定するか、2) [Cancel] (キャンセル) をクリックしてログインウィンドウに戻ることができます。

続行を選択すると、新しい複雑なパスワードとヒントを作成するよう求められます。ヒントの項目は必須ではありませんが、パスワードを忘れた場合に、手がかりを提供します。

(注: ヒントは DTL+ G3 デバイスのパスワードと同じにはできません)。



図 10.3 - パスワードを忘れた場合



図 10.4 - フォーマット前のプロンプト

*注: デバイスフォーマットが実行されると、DTL+ G3 のセキュアデータパーティションに保存されているすべての情報が消去されます。

ドライブレターの競合 (Windows OS)

本マニュアルの「システム要件」の項 (3 ページ) で述べたように、DTL+ G3 では、ドライブレターの割り当てにおいて「ギャップ」の前に表記される最後の物理ディスクの後に、連続した 2 つのドライブレターを必要とします (図 10.5 参照)。これは、ネットワーク共有には関係しません。なぜなら、ネットワーク共有はシステムハードウェアプロファイル自体ではなくユーザープロファイルに固有であり、OS で利用できるように見えるためです。

これは、Windows が DTL+ 3.0 に、すでにネットワーク共有や UNC パスで使用されているドライブレターを割り当て、ドライブレターが競合を引き起こす可能性があることを意味します。このような場合は、Windows のディスク管理 (管理者権限が必要) でドライブレターの割り当てを変更する方法について、管理者またはヘルプデスク部門にご相談ください。

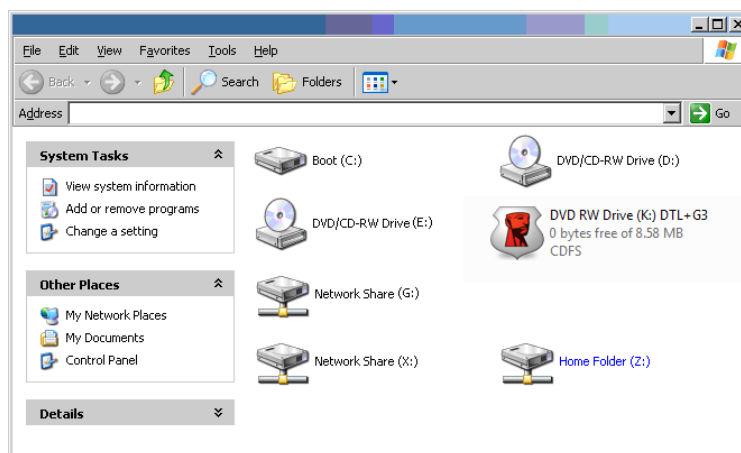


図 10.5 - マイコンピュータ

この例では、DTL+ G3 はドライブ F: を使用します。ドライブ F: は、ドライブ E: (ドライブレターギャップ前の最後の物理ディスク) の次に使用可能なドライブレターです。G: はネットワーク共有であり、ハードウェアプロファイルの一部ではないため、DTL+ G3 はこれを 2 番目のドライブレターとして使用しようとし、競合を引き起こす可能性があります。

システム上にネットワーク共有がなく、DTL+ G3 が読み込まれていなくても、カードリーダー、リムーバブルディスク、または以前にインストールされた他のデバイスがドライブレターの割り当てを保持し、競合を引き起こす可能性があります。

ドライブレター管理 (DLM) は Windows 11/10 で大幅に改善されているため、この問題に遭遇する可能性は低ですが、競合を解決できない場合は、Kingston のテクニカルサポート部門にお問い合わせください。

Copyright © 2023 Kingston Technology Corporation, 17600 Newhope Street,
Fountain Valley, CA 92708 USA. 無断転載を禁じます。

Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。

その他記載されている商標および著作権は、各所有者に帰属します。

Kingston は、本書に含まれる技術的または編集上の誤りや脱落、およびこの資料の提供または使用に起因する偶発的または結果的損害について責任を負いません。本書に記載されている情報は、予告なしに変更されることがあります。Kingston は、発行日以降に提示された情報の正確性を保証しません。本書は情報提供のみを目的としています。Kingston は本書において、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行いません。

著作権者から事前の許可を得ていない限り、作品または派生作品を商業目的で標準的な（紙面の）書籍の形で配布することは禁止されています